平成29年度　輸出に取り組む事業者向け対策事業に係る海外販売促進活動報告書

平成30年1月10日

農林水産省

食料産業局長　殿

全国農業協同組合連合会

輸出対策部

平成28年度補正における青果物輸出特別支援事業に係る海外フロンテア市場販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域　：　台湾（台北市・新北市・新竹市・台中市）

実施期間　：　平成29年 12月29日～12月31日

（フェアに係る出張　：　平成29年 12月29日～12月31日）

「台北市SOGO 天母店　JA全農フェア」

1．台湾・SOGO・City Super・新光三越での「ＪＡ全農フェア」実施概要

（1）期間　　:平成29年12月29日（金）～12月31日（日）

（2）場所　　：　SOGO 2店（忠孝店、中壢店）、
City Super 5店（復興店、板橋店、天母店、台茂店、新竹店）
新光三越 3店（天母店、信義A11店、台中店）の計10店舗。

（3）対応者　：　全農輸出対策部 笠原　商田實業 陳偉晴

（4）内容　　：　毎年冬場のこの時期恒例となっている、愛知・JA蒲郡市のみかんの台湾での販売フェアを開催した。
台湾現地でも蒲郡市のみかんが定着してきたが、日本産みかんの台湾での更なる地盤づくりのため、従前から継続した取り組みを展開した。
また、現地のお客様の反応・意見を把握して、今後は更に良い商品提供ができるようにするため、フェア当日には全農職員が売場に立ちPRを行った。

（5）販売青果物
みかん（10kg　334ケース）

（6）出荷日程
12月19日　名古屋港 出港（船便）
12月24日　台湾基隆 到着
12月26日　商田實業 倉庫 到着

（7）着荷状況
輸送中の船揺れ・船舶遅延の影響により約13％のダメージ品が発生した

２．台湾・SOGO・City Super・新光三越での「ＪＡ全農フェア」対応

（1）期間　　：　平成29年12月30日（土）～31（日）

（2）場所　　：　開催10店舗中、6店舗を巡回・フェア対応
＊シティスーパー天母店、新光三越天母店、新光三越信義A11店
そごう忠孝館、シティスーパー復興店、シティスーパー板橋店

（3）内容　　：

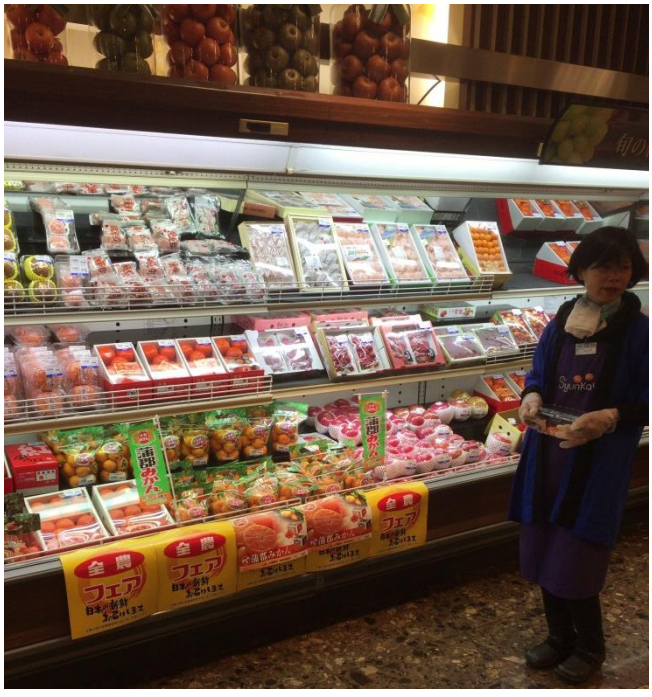
今回開催した10店舗は富裕層からアッパーミドル層をターゲットとした店舗を中心としている。
特に巡回した6店舗はいずれも台北市・新北市でも特に駐在外国人家族、台湾人富裕層が多く住む地域、または同国の商業中心地であり、この地域での高評価獲得が日本産青果物の評価獲得にもつながるため、非常に重要な取組である。

今年は日本では雨天・日照不足が続き、青果物の生育不良・品質低下がさけばれており、国内、輸出ともに流通量が減少傾向にある品目、また食味も低下傾向にある品目が多い。これまで築きあげてきた日本産農産物の価値を維持・向上するために、お客様にはしっかり良い商品を売る為、また卸業者には日本の状況を正確に伝える事も、今回のフェア対応の目的とした。

またダメージ品については原因特定、改善策の検討・実践を行う為にも、今回は現地業者とじっくり意見交換を行う場を確保した。

愛知県・JA蒲郡市のみかんを販売

City Super 天母店
おなじみの全農フェアポスターでPR



新光三越 天母店
試食サービスで美味しさをPR

新光三越 信義A11店

SOGO 忠孝店

City Super 復興店

Japanese Fruits ポスターで
オールジャパンの日本産果物をPR

City Super 板橋店

試食サービス実施で多くのお客様に
試食・お買い上げいただきました

３．商田實業との打ち合わせ

（1）日時　　：平成29年12月29日（金）

（2）場所　　：商田實業　本社事務所内（台湾・新北市内）

（3）内容　　：

商田實業 董事長の林氏、担当者の曾氏他と輸出商品の着荷状況の確認、直近の台湾市場での日本産農産物・食品に対する需要・トレンドに関する情報交換を行った。また今回はダメージ品が発生したため、原因特定と今後の改善策についても打合せを行った。

今回のフェアと打合せの内容をふまえて、今後の販売拡大及び次回のフェアを実施する。

４．所感

今年は長雨・日照不足の影響から、みかんも含めて日本産青果物の生育状態、品質の劣化が危惧されていたが、やはり台湾の消費者からも例年よりも甘味が少ない点の指摘が多く上がった。

そのような厳しい状況下ではあったが、これまで販促取組を積み重ねてきたことから、日本産果物への評価は安定しており、輸出した商品は完売することができた。例年通り、冬場に日本のみかんを食べることを楽しみにしていらっしゃるお客様に、今年も喜んでいただけた。また、これにより産地・生産者側の輸出へのモチベーションを上げることができた。

フェアを通して、台湾のお客様の声を聞く事ができ、「台湾は他の中華圏の国よりは酸味に対する抵抗感が薄い」「甘味8：酸味2のバランスが良い」などの具体的な意見も入手できた。

ダメージ品発生の理由については、悪天候により元々果皮が弱かった点、予定していた船の日本到着・出港が遅れて、産地出荷から店舗到着が遅れた点など、様々な要因が考えられるが、輸送中に玉同士があたってキズができる事が直接の原因である。日本産品の評判を落とさないためにも、輸出は国内出荷以上にリスクが高いことに、あらためて留意して、選果を行い、今後も輸出拡大に取り組む。

５．　今後の進め方

〇今年度の台湾での全農フェアはもう1回（2月頃）計画しているが、青果物の生育、流通状況を鑑みて開催を調整する。

〇そして今回の経験を活かして、よりお客様に喜ばれる商品を提供する。

〇また、今シーズンは悪天候であったため、みかん以外の青果物も輸送耐性に弱い可能性が高いので、輸出する際は産地とも連携して細心の注意を払う。